

<b>日本文学</b> (Japanese Literature)					担当教員	
					非常勤講師	瀧本 和成
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等		
人と文化	1年次 前期	講義	1.5単位	選択		

### 【概要】

明治から大正期にかけて発生した新しい文学を、展開した時代・社会を“立体的な空間”として捉え、作者・作品・読者三者の有機的な関係性のなかで文学作品を分析、考察して行きたい。

この授業は全て対面授業で実施する。

### 【授業の一般目標】

1910年前後（明治40年代）に発表された作品の読解を通して、近代文学作品の分析・意味づけ・論証方法を修得することを第一義とする。併せて文学・芸術(全般)の魅力や楽しさを享受し、その役割や(存在)意義について考察したい。

### 【準備学習(予習・復習)】

指定する作品を読んで講義に臨むこと。文献を読み込む時間としては毎回概ね1～2時間程度を想定する。（講義3回毎に1文献を読むことを想定した場合）

### 【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	日本近代文学	瀧本	日本の近代文学・芸術の特質を把握する。
2	日本近代文学 -明治から大正へ-	瀧本	1912～192年の日本近代文学の特徴を把握する。
3	与謝野鉄幹・与謝野晶子の文学(1)	瀧本	短歌・随筆を鑑賞し、その内容を分析・考察する。
4	与謝野鉄幹・与謝野晶子の文学(2)	瀧本	与謝野鉄幹・与謝野晶子の短歌の特質を理解する。
5	与謝野鉄幹・与謝野晶子の文学(3)	瀧本	与謝野鉄幹・与謝野晶子の文芸観を把握する。
6	夏目漱石の文学(1)	瀧本	夏目漱石の小説を鑑賞し、その内容を分析・考察する。
7	夏目漱石の文学(2)	瀧本	夏目漱石作品の特質を理解する。
8	夏目漱石の文学(3)	瀧本	夏目漱石の文芸観を把握する。
9	森鷗外の文学(1)	瀧本	森鷗外の小説を鑑賞し、その内容を分析・考察する。
10	森鷗外の文学(2)	瀧本	森鷗外作品の特質を理解する。
11	森鷗外の文学(3)	瀧本	森鷗外の文芸観を把握する。
12	石川啄木の文学(1)	瀧本	石川啄木の詩歌を鑑賞し、その内容を分析・考察する。
13	石川啄木の文学(2)	瀧本	石川啄木作品の特質を理解する。
14	石川啄木の文学(3)	瀧本	石川啄木の文芸観を把握する。
15	総括・まとめ		

	(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書	『明治文芸館』	上田博編	嵯峨野書院
参考書	『明治文学史』 『大正文学史』	上田博・瀧本和成編 上田博・瀧本和成ほか編	晃洋書房 晃洋書房
	その他の参考書・研究書は講義中適宜指示する。		

### 【成績評価方法・基準】

小レポート20%、定期試験80%

### 【評価のフィードバック】

試験に関する講評をmanabaにて公開する。